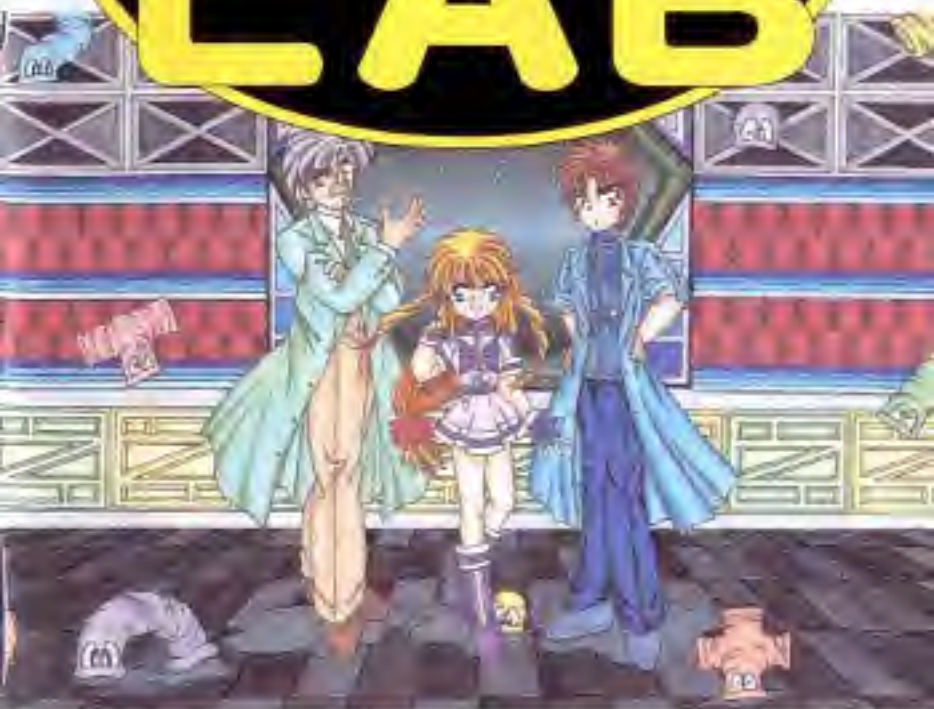


# VIRTUAL LAB



とりあつかいせうめいしょ  
取扱説明書

VUE-VJVJ-JPN

VIRTUAL BOY

## 使用上のご注意

このたびは、「株」のインクのバーチャルボーイ専用カートリッジ「バーチャルラボ」をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。まずはじめに別冊の「注意書」をお読みいただき、次にこの「取扱説明書」の指示に従い、各調整をおこなったうえ、正しい使用方法でご使用ください。なお、「注意書」およびこの「取扱説明書」は大切に保管してください。



# CONTENTS

ゲームを始める前に	4
ストーリー	8
キャラクター紹介	12
ゲームの目的	14
設定画面	16
操作方法	20
パネルの消し方	22



# ゲームを始める前に

ゲームをスタートする前に、次のような調整をおこなってください。

リーディングボード（本体）の「スタート」ボタンを正しく  
操作していただき、初期設定メニューをやり直した  
後、コントローラーの前後にある調整スイッチと  
ONにする。しばらくして画面画面が明るくなる。

IMPORTANT :  
READ INSTRUCTION AND  
PRECAUTION BOOKLETS  
BEFORE OPERATING

じゅうよう：  
ゲームをはじめるまえに、ちゅういしよ  
およびとりあつかいせつめいしよを、  
かならずよんでください。

、VRゴーグルを正しく装着し、  
 目・鼻・口が正しく位置するよう  
 調整します。目・鼻・口の位置が正  
 しくないと、酔いや目眩などの不  
 快感に、さらにはVRゴーグル  
 の部品を破損するおそれがある  
 場合があります。



視野画面を見ながら、手帳上段にある「目の調整」  
 を行うことができます。画面の4隅にある十字の  
 発光が正常に点灯していません。

（目・鼻・口の位置が正しくないと、発光が正常に点灯しません。）

このように、  
 目は正常に  
 点灯するよう  
 に調整して  
 ください。



その他の調整については、バーチャルボーイ本体の  
 取扱説明書をお読みください。



## オートマティックポーズ機能について

バーチャルボーイ専用カートリッジには、プレイヤーの目の健康を守るため、適度な時間に休止する「オートマティックポーズ機能」があります。

目の疲労を軽減するために、ゲームを終えた後、20分間、スクリーンを降りて次の画面に切り替わります。

この間、ゲームをプレイするオートマティックポーズ機能のON/OFFが可能です。

機能のどちらかを設定した後、再度STARTボタンを押すと、ゲームのタイトル画面が切り替わります。

**OPTION**

**AUTOMATIC**

**PAUSE**

**ON**

**OFF**

ひたすら着いた町を 通ると、山に突き当りにカーブ  
です。このカーブは急なカーブで、カーブが鋭  
に折れます。直進の道程をたどると、山には急傾斜  
が連続して

ら（山）の頂上を越すと、カーブを直進すると  
山

西暦2095年、地球に程遠い惑星マリン・ブルーにコスモステーションが創られた。

ステーション内には、宇宙開発センターがおかれ、多くの科学者達が集まり、様々な研究が行われていた。その中のひとつ、バーチャル・ラボ研究所では所長でもある、片桐博士が究極生物“ミュー”の生態を調べていた。







「ふっふっふっ…この生物の重大な発見を今度の研究学会の席で発表すれば、さらに私の名前が高められるぞ。」すっかり気を良くして、自室で仮眠を取っていた博士のところに助手である甲斐ケンが慌てた様子で次の事を告げた。「片桐博士、大変です!! 非常事態が発生しました!!」急いで特別研究室まで駆けつけた2人が見たものは室温自動調整器の故障で、室内温度上昇の為、増殖反応をおこした“ミュー”の姿だった。

「げげっ、…これはやばい!!こんな事が学会のメンバーに知られたら、私の名前に傷がつく。……甲斐君、この事は誰にもいってはならんぞ。私はしばらく隠れておるからな。」  
「そ、そんな…この状況はどうするんです?」「そんなものリサにでも任せておけ。もう、授業が終わるころだろうからな。」そういつて博士はドアから出ていってしまった。「そういうわけにはいきませんよ、博士!!」すでに姿の見えなくなった博士の後を追って甲斐も部屋を出ていった。





「な〜にこれ…。」私がいつものように研究室のドアを開けると、そこはいつもと違う光景だった。私の目の前で、奇妙な生物が部屋中を覆いつくしていたのだ。「これって、お父さんの研究していた生物じゃないの〜。部屋の中にいないところを見ると逃げたなあー」ふと、机の上のメモに気づいた。この状況の原因と生物の対処法とが書いてある。“後は宜しく”と父の伝言と甲斐君の“博士を探してきます”というメモを手を、私の体は硬直した。

「もう〜、おとうさん見つけたらタダじゃすまないからね!!」そんな私の目の前で、『ミュー』達はどんどん増え続けていった。



## キャラクター紹介



私、片桐 リサ 13 歳。  
性格は明るくて、  
ちょーっと気が強いつ  
てとこかな。  
一応このゲームの主人  
公だよ。

（スタッフ 博士の娘）



ミュー、ミュ  
ミュー ミュー〜。  
（訳：僕達、原生動  
物で「ミュー」と  
いうんだ。謎の多  
い生物だよん。）

ふっ私は片桐スタン35歳だ。  
研究所の所長も勤めておる。自分  
で言うのもなんだが、なかなかの  
切れ者だぞ。

でも性格はいいからな。(姫子)

はじめまして。  
甲斐ケンと申しま  
す。年は18歳で  
す。年のわりには  
よくしっかりして  
いると言われます。  
現在片桐博士の  
助手をしています。





## ゲームの目的

…まったく、お父さんの無責任さにもまいる  
なあ…なんてあきれてる場合じゃなあ～い!!  
私にはやらなきゃならない事がいっぱいある  
し。

…そう、研究室にあったあのメモに処理方法が  
書いてあったの。

それによると“ミュー”は断片にある穴で呼吸し  
ているから、これを塞げばいい…とのこと。

うーん、要するに口を全部塞いで窒息死させれ  
ばいいんだね。

“ミュー”は死ぬと空気中の酸素によって体が溶  
かされて消えるそうだが…って、これは別にどう  
でもいいかな。

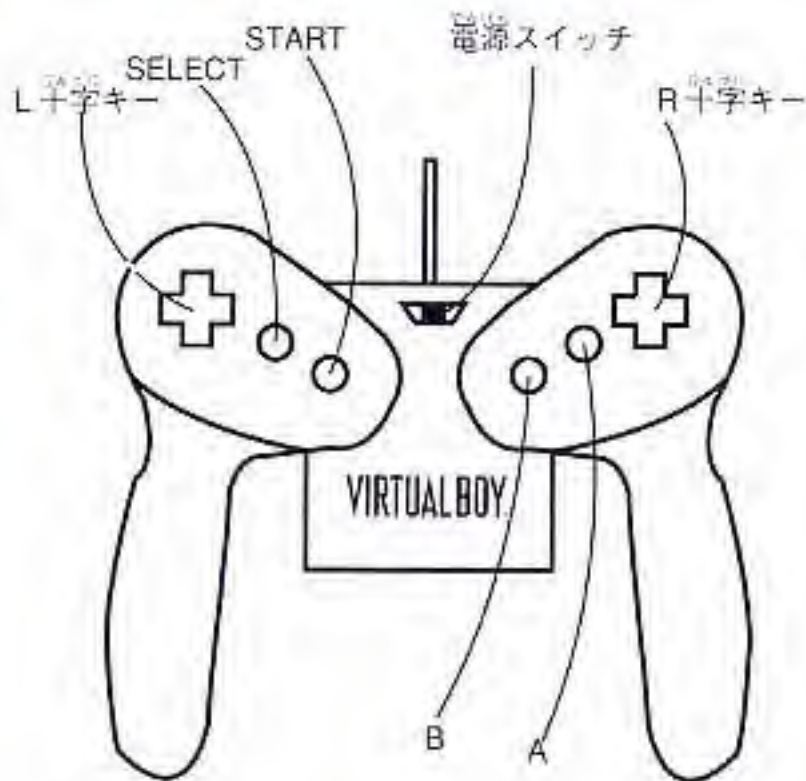
だって目的はたくさんの“ミュー”を同時に消して、1匹も残らぬように消失させる事なんだから。

…これを読んでいるその君、しっかり私を操作してね。

なんといっても君の腕次第なんだから…。



# CONTROLLER の説明



- START :**      ゲームスタート  
                 ポーズ
- SELECT :**      選択の決定
- A :**            落下パネルの時計回り回転
- B :**            複数パネルの位置替え
- 十字キー左右 :**      パネルの左右移動
- 十字キー下 :**      パネルの落下加速

## タイトル画面



ここで、落下速度の設定をします。  
LOW (遅い)・MID (普通)・HI (速い)

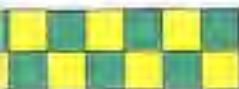


## PLAY 画面の説明

画面の上から落下してくるパネルをつなぎあわせて  
パネルを消失させてください。



SCORE	スコア
MAX	同時消失パネル数の最高記録 (ゲームオーバーで抹消)
GET	直前の同時消失パネル数 (次の反応で更新)
LEVEL	現在のレベル
落下速度	(LOW, MID, HI の 3 段階)



# パネルの種類



上の5種類があります。



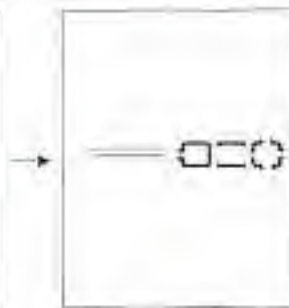
# 操作方法



十字キーの左右で、パネルを左右に移動させることができます。

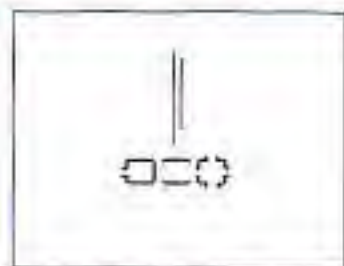


十字キーの左で  
左へ移動

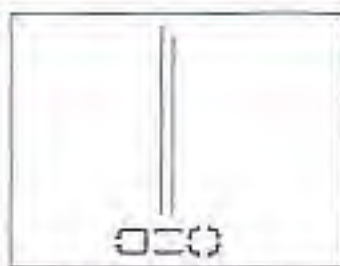


十字キーの右で  
右へ移動

十字キーの下でパネルの速度を速めることができます。



十字キーの下を  
押さない場合



十字キーの下を  
押した場合

Bボタンを押すと、パネルの位置が変わります。

□□{ } → □{ }□ → { }□□

Bを押す。                      Bを押す。

Aボタンを押すとパネルが回転します。

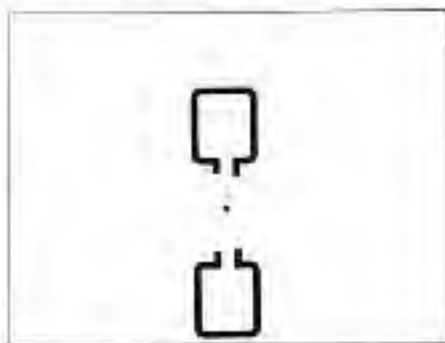
□□{ } → □□{ } → □□{ } → □□{ }

Aを押す。                      Aを押す。                      Aを押す。

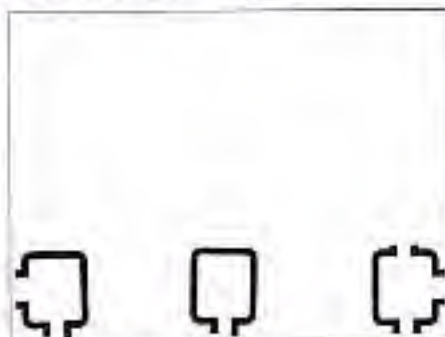
## パネルの消し方

パネルの開口部<sup>かいこうぶ</sup>をすべてふさぐと、パネルは消失<sup>しょうしつ</sup>します。パネルの塞ぎ方<sup>ふさぎかた</sup>は2通りあります。

①パネルの開口部<sup>かいこうぶ</sup>どうしをつなく。



②パネルの開口部<sup>かいこうぶ</sup>を床<sup>ふか</sup>や壁<sup>かべ</sup>につけます。



※このような場合、<sup>ばあい</sup>消失<sup>しょうしつ</sup>しません。

パネルの開口部<sup>かいこうぶ</sup>が、自<sup>じ</sup>分の表面<sup>ひょうめん</sup>にくっついてしまった場合<sup>ばあい</sup>、このパネルは消失<sup>しょうしつ</sup>しません。

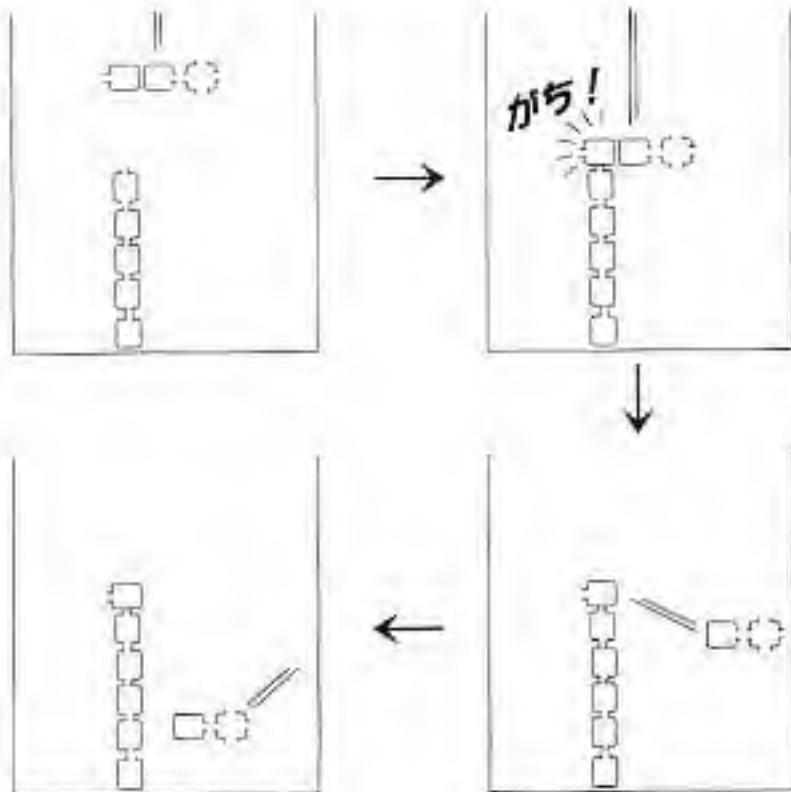




## 複数のパネルについて

レベルアップすると落下してくるパネルが複数になることがあります。

複数のパネルのどれか1つが着地すると他のパネルは独立して動かすことができるようになります。



# 10 個以上同時に消した場合

どうも、甲斐です。

プレイ前に1つ教えないとい  
事が…きつと役に立つ  
と思います。操作を間違え  
たりして消せなくなったら、  
“ミュー”が出てきたら、  
慌てずに10匹以上の  
“ミュー”を同時に消し  
てください。その後妖精  
が現われて、画面の一番  
下の段の“ミュー”を消  
失させますので、えっ  
どうして下だけ消えるの  
かっでここではどうも  
説明できませんが、そう  
いう法則があるんです。  
せなくなつた“ミュー”  
を消失させるにはここ  
の方法しかありません。  
れをうまく利用してリサ  
さんを手伝ってあげて  
ださいね。



- 上に乗っているパネルは下のパネルが消失すると重力の法則で落下します。そして、落下後開口部が地面にくっついたり、他のパネルの口を塞いだりすることがあります。そしてすべての口が塞がればそのパネル群も消失します。
- 場合によっては、2度、3度の連鎖反応を作ることにも可能です。

…それはあなたの腕しだい！！

## レベルアップ

- 画面のパネルを全部消すと、そのレベルがクリアされたことになります。そして、次のレベルに上がります。
- レベルアップは、同時に消去したパネルの数によって上がり方が変わります。

MAX20未満：	1レベルのアップ
MAX20～29：	2レベルのアップ
MAX30～39：	3レベルのアップ
MAX40～49：	4レベルのアップ
- 場合によっては、一番初めのステージで、1つのパネルを処理しただけで、レベルアップになることもあります。

…それはあなたの運しだい！！

## ゲームオーバー

- <sup>がめん</sup>画面のパネルが上まで積み上がったら、ゲームオーバーです。  
次のトライをお待ちしています。
- レベルアップ時の休憩<sup>じ きゅうけい</sup>タイムは、最大限利用<sup>さいがいりげん りよう</sup>したほうが、高得点<sup>こうとくてん</sup>にもつながりますよ。





完全にムーを撃退できるかー?!  
Good Luck!!



## ユーザーの皆様へ

- このソフトウェアと取扱説明書は、株式会社 J・ウイングの著作物です。その一部または全部を、株式会社 J・ウイングの許諾なく、複製、複製すること、およびレンタル業、もしくはそれに類似する行為に使用することは、法律（著作権法など）で禁止されています。
- ゲーム内容などに関するご質問、攻略法などについては、誠に勝手ながらお答えできませんのでご了承ください。
- 製品には万全を期しておりますが、万一株式会社 J・ウイングの責に帰する不都合が生じましたら、ご面倒とは思いますが、「株式会社 J・ウイング ユーザーサポー係」までご連絡くださいますようお願い申し上げます。



VIRTUALBOY・バーチャルボーイ®は任天堂の商標です。

FOR SALE AND USE IN JAPAN ONLY AND COMMERCIAL RENTAL PROHIBITED.

本品は日本国内だけの販売および使用とし、  
また商業目的の貸貸は禁止されています。



株式会社 J・ウイング

〒115 東京都北区赤羽 1-60-1 グランデール 202